

第8回錯体物性化学講演会

今野 巧 教授

大阪大学 大学院理学研究科
化学専攻



段階的かつ合理的な錯体分子集合体の合成や非クーロン相互作用が空間配列を支配する新しいタイプのイオン性固体の開発など、金属錯体配位子を基盤とする新しい金属錯体集積体の研究を精力的に展開されている今野 巧先生（大阪大学大学院理学研究科 教授）をお招きして、講演会を開催いたします。皆さまのご来聴をお待ち申し上げます。

日時：2014 年 6 月 25 日（水）16:30 ～ 18:00

場所：理学部 2号館 3階 化学第2講義室 (2355 室)

講演タイトル：単純な含硫アミノ酸から多彩な金属化合物を創る

要旨：これまで講演者は、2-アミノエタンチオールやシステインなどの比較的単純な含硫配位子から「錯体配位子」として働くチオラト単核錯体を合成し、これら「錯体配位子」と各種金属イオンとの反応による合理的な多核金属錯体や超分子錯体の構築に関する研究を進めてきた。最近、含硫アミノ酸の一種である D-ペニシラミンが Au(I)イオンに配位した直線型単核錯体が、チオラト基に加えてアミノ基やカルボキシル基でも配位可能な「多座の錯体配位子」として機能することを見出し、この錯体と各種金属イオンとの反応により多彩なキラル金属化合物の構築に成功している。本講演では、この金(I)錯体を用いた段階的な金属化合物の構築に関する研究を中心に、「単純な含硫アミノ酸から配位化学をベースとして如何に多彩な金属化合物が創れるか」について講演する。

連絡先：理学研究院化学部門 大場正昭

E-mail: ohba@chem.kyushu-univ.jp, Tel: 092-642-2570